

タツプ、ほめる。シツカリしかる。
教育のページ
 いいてっえ 夢づくり構想



▲セミナーの様子

1/22 村教育委員会と南相馬市教育委員会が共催

—特別支援教育啓発セミナー in 南相馬・飯館を開催—

村教育委員会は、南相馬市教育委員会と共催で、南相馬市文化センターを会場に特別支援教育セミナーを開催しました。

このセミナーは、「特別支援教育を『特別』にしない」という視点から、学校で気になる子どもや問題を抱える子どもへの対応、子育て支援などについての理解と啓発を図る目的

で開催されたものです。セミナーでは、山形大学教授の三浦光哉さんが特別支援教育や学校環境づくりについて講演を行いました。セミナーには教職員や一般参加者など約100人が参加しました。

参加者は、今後の学校生活や授業など、特別支援教育を必要とする子どもとの関わりに直接的に生かせる内容に、真剣に耳を傾けていました。

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

母親の愛 その4

現代は学歴社会の時代です。一昔前のように、中卒の人たちはほとんどいなくなりました。この時代、親であれば、本心、わが子がしっかり勉強する子どもに育つよう願います。

勉強にしっかり取り組む力は父性の働きです。勉強は決して安易なことではなく、頭を使う作業ですので、学ぼうとする意欲、つまり父性が必要です。父性は主として父親から伝授されると思われがちですが、母親の愛の力が大きいのです。それはやさしい眼差しとあたたかい言葉、スキンシップによる報酬です。そして、思うだけでなく実際にこのことを行うのは実は母親自身の持つ父性です。即ち、勉強するととても良いことがあるという体験、つまり母親の「こころの報酬」を得た子どもは学習意欲という精神力を培います。この精神力は教えられて身につくのではなく、勉強したいという行為に対して母親が与えた「こころの報酬」によって習得されるのです。

幼いときから、勉強しているときやその後で、笑顔と優しい眼差しで、時には頭をなでて、はつきりと「よくやったね」「えらいよ」「大したもんだ」と表現し続けますと、しっかり勉強する子どもに育ちます。飯館村の母親の皆さん方のご努力を期待します。

飯館中学校スクールカウンセラー
 海野 和夫
 社団法人国民保健会主任研究員
 学校心理士・家族心理士
 臨床心理士

○教育相談は飯館中学校（☎42-0008）へ電話でお申込みください。

12/22

コカ・コーラ杯県大会 飯樋FCが出場を報告

第33回コカ・コーラ杯争奪戦福島県スポーツ少年団フェスティバルの県大会に出場する飯樋FC（須藤謙一監督）が村長室を訪れ、村長が監督と選手を激励しました。

飯樋FCは相双大会の出場チーム25チーム中負けなしの1位で県大会に駒を進めました。村長から「頑張ってください

てください」と激励を受けた代表の坂井剛くん（飯樋町）は、「優勝を目指したい」と抱負を話しました。

県大会は1月9日、10日の両日、21世紀の森いわきグリーンフィールドで行なわれ、飯樋FCは予選ブロック3位の結果を残しました。



▲村長から激励を受けた坂井くん（中央）と須藤監督（写真右）

1/23

第200回記念大会 飯館村ゲートボール協会長杯を開催



▲村大会の様子

飯館村ゲートボール協会（大東正男会長）が主催する「村ゲートボール協会長杯第200回記念大会」がふれあい交流館にてやまで開催され、会員がゲートボールを通して交流を深めました。

この協会長杯は、昭和63年に第1回大会が開催されて以来、今回で200回目の節目を迎えました。

選手代表の花井秀男さんが「仲良くわきあいあいと競技することを誓います」と選手宣誓したあと、7チーム50人ほどの会員たちが交流を深めながら優勝を争いました。

大会は宮内チームが優勝し、選手が互いに喜びを分かちあいました。

1/22

ジュニア・リーダーパワーアップセミナーを開催 沖縄のお菓子「サーターアンダギー」作りに挑戦!



▲「もうできたかな?」

村では、明日の地域づくりを担う人材を育成しようと、ジュニア・リーダーの制度を設けています。今年度は小学5年生から高校2年生まで22人が活動しています。

22日は、細川ミツさん（上飯樋）を講師に沖縄のお菓子「サーターアンダギー」作りに6人のリーダーが挑戦しました。

研修では、慣れない手つきで、小麦粉をこね、油で揚げて約130個のサーターアンダギーをつくり、全員で試食しました。